

「中学校統合に向けた取り組みについて」児童・保護者への説明会質疑等の概要

【池田小学校5・6年生の児童・保護者】

○日 時：令和6年10月30日（水） 19：00～20：05

○場 所：池田校区公民館

○参加者：5年生（在籍児童3名）：児童0名／保護者1名

6年生（在籍児童4名）：児童1名／保護者3名（2世帯が参加）

合 計（在籍児童7名）：児童1名／保護者4名

参加者）統廃合については、10年程前から参加していて、統合にあたっては、子供たちに負担がかからないようにしてほしいと思っている。私自身が中学校のときに統廃合があり、中学校1年まで旧校舎、2年生から統合した新しい学校に通った。そのときは、5校が1校になるという大きな統廃合だった。その際に、いろいろ困ったことや嫌なことがあったので、子供が同じ境遇になるのではないかと心配している。ただ、私の街では、このような説明会を行ったりという丁寧な対応はなかった。指宿市は、アンケートをたくさん取ったり、説明会も何回も行ったりと丁寧にされており、その点では安心はしている。

質問になるが、西指宿中学校と北指宿中学校が一緒になったときに、何クラスで、1クラスが何人くらいになる予定なのか。

事務局）1学年が120人くらいで、1学年3学級になるか、4学級になるかギリギリのところである。中学校が1クラス40人。120人なら3学級、120人を超えたら4学級になる。

参加者）40人は多い。西指宿中学校では先生たちが手厚く見てくれるので、多くなれば、先生の目が行き届かないのではないかと不安がある。親や子供たちが困ったことがあったときの相談窓口は設ける予定なのか。

事務局）人の目につかない形で相談室に入れるようにしたいと考えている。相談室にも、スクールソーシャルワーカーを多めに配置する予定である。

参加者）最初は困ったことや、改善してほしいことが必ずあるが、どこが責任をもって解決していくのか。教育委員会なのか。

事務局）学校でできる部分は学校。タブレットを1人1台持っているので、それでSOSを発信できないか考えている。また、教育委員会では現在も相談電話も行っているのでも活用できないかとか考えている。

参加者）子供たちは思春期で難しい年頃なので、自分の思いを表出することもできないと思うが、タブレットだったらできるかもしれない。今、事務局の皆さんも思いつく限りの手立てはしていると思うが、始まってみると、色々なことが出てくるので、子供たちにとって、駆け込み寺のようなものがあると安心だと思う。

要望になるが、子供たちの小学校同士の交流というの人数が多いから難しいと思うので、中

学校に行ってから交流をするのであれば、中学校 1, 2, 3 学期だけの 1 回ずつだけは少ないので、もう少し増やしてほしい。

また、小学校の間の交流というのは、できないか。

事務局) 小学校の方も同時に始める予定である。小中一貫教育ということで、西指宿中学校区と北指宿中学校区が別々でやっているが、統合が決まったので北指宿中、西指宿中、5 小学校で行う。

参加者) 柳田小学校のは半分どうするのか。

事務局) そこは大変なところもあるが、5 小学校で話をして行って交流していこうと考えている。

中学校の交流と同時に実施していく予定。

中学校同士の交流は令和 7 年度の 1 学期から交流学习を始められる。小学校同士の連携というのも同じようにできたらいいが、北指宿中は柳田小の子たちが半分いるため、半分は南指宿中と連携をする。南指宿中は丹波小と、その半分の柳田小の子たちと。指宿地域の小学校が全部、同じ日に交流学习をしないと、柳田小の半分の子たちが残ってしまうので、その調整というのが、学校の先生たちも難しい。しかし、今の時点で柳田小の半分、魚見小、指宿小の 3 校で一緒にしている日がある。その日に池田小、今和泉小が行ければ交流はできると思われるので、来年の行事を決める年末くらいまでに、その調整ができれば小学校同士の交流は可能だと思っている。なかなか 1 学期に 1 回というのは難しいが、年に 1 回はできる形にしたい。

参加者) 西指宿中学校からの先生の異動は何人くらいあるのか。

事務局) 教職員の配置は県が決めることだが、できるだけたくさん欲しいという要望はする。

参加者) 知っている先生がいると安心感があるし、先生たちも細かく見てくれると思う。

事務局) 山川小学校の統合のときには、旧大成小学校が山川小学校になったので、旧山川、徳光、利永のそれぞれの学校から 1～2 名程度配置された。

参加者) 災害時の対応について要望。先日の大雨で、池田は法面が崩れたり被害が大きい中、西指宿中学校は他の指宿地域の中学校と同じ対応で登校してくださいと言われ、どうやって行けばいいのかと混乱した。地域の特性を考えて、災害の対応をしてほしい。今回は家から通学路の被害だったので、もう行けないという対応をした人もいれば、大雨の中、変な道を通って行った人もいた。逆に子供を迎えに行かないとなくなってしまう場合、連絡や判断が遅れると迎えに行けないということもある。池田を校区にいれるなら、指宿市内の状況だけではなく、こちらの状況も判断基準に入れてほしい。

事務局) 統合後は基本的にスクールバスでの送迎となる。

参加者) そのスクールバスが運行しているかどうかの判断は校長先生がするのか。

事務局) 基本的には校長先生、学校判断にはなる。帰りについても、災害時や緊急時は迎えにきてもらうこととなるが、そのときの状況や、バスで早めに送り返すことができるのかというのも判断材料になると思う。

参加児童) 40 人の中に、先生は 1 人なのか。今までは分からないこととかもすぐに聞ける環境だったので、それができないと考えると、環境の変化というのは大きい。

事務局) 基本的には今の小学校、中学校と同じく担任の先生は 1 人、中学校になったら副担任の先

生がもう1人つく。でも、2人がずっと教室にいるわけではない。あと、支援が必要な子がいたら、支援員という人が別にいる。

ある程度人数がいたら、少人数授業をすることもある。1クラスを2つに分けて、先生がそれぞれにつく。そういうときは理解度ごとでするので、進んでいる子には応用問題をしたり、なかなか理解度が進まない子には基礎を重点的に教えたりと、利点としてはある。言われるとおり、1学級ですると人数が増えるので、慣れるまでは厳しいところもあると思う。

参加者) 少人数授業をするというのは、今はしていないのか。

事務局) いつしているのかというのは把握はしていないが、基本的には授業ごとで行っている。

参加者) 西指宿中学校の先生が北指宿中学校に異動ができるということを知らなかった。

事務局) 約束はできないけれど、県にはお願いしており、前の山川小学校のときは2名くらい行ってくれたという実績がある。

参加者) そうなってくれたら安心度が上がる。友達も知っている子はいるかもしれないけど、知っている先生がいてくれると心強い。

参加者) 北指宿中学校は人数も多いし、西指宿中学校の制服を着ていたら、3年生になって来た子たちだよねと、よそ者が来たような雰囲気になるのではないかと。受け入れる側の北指宿中学校のほうには、どういう話をしているのかが気になる。子供たちは何もない田舎者みたいな感じで揉まれていないので、揉まれている学校に入ったときに、北指宿中学校側がどんな風に受け入れるのか不安がある。

事務局) この交流学习というのが最初のきっかけになる。交流学习をするというのを今年度にしっかり決めて、来年度、1年生から始めていく。北指宿中学校の子供たちは状況があまり変わらないので、統合で一緒になる子供たちには、しっかり伝えていきたい。今の5・6年生に限って言えば、西指宿中学校から転校していくというような形で行くので、そこは特に気を付けていかないといけないと思っている。西指宿中学校に通っていて、途中で北指宿中学校に行く子供たちには、できる限りのフォローをしていくので、こんなことをしてほしいなどの意見があれば言ってくれば、できるようにしていきたいと思っている。

参加者) 北指宿中学校に行きたいと思って行くわけではないし、北指宿中学校側も来てほしいと思っているわけではないと思うので、そこはスムーズにいくといいと思う。

参加者) 私も統合を経験していて、大きい中学校から行った。そこでは西指宿中学校のような小さい学校から来た子たちもいた。最初は大きい学校から行った子たちが幅を利かせていて、小さい学校から来た子たちをいじめるといったのがあった。でも、少人数学校から来た子たちの人間力、勉強や運動も頑張るといった何でもやる率先力を見ていたら、大きな学校の子たちがバカにしていたのが、すごいなという思いが変わって、小さい学校から来た子たちに学ばせてもらった。そういうのが今回も起こると一番良いなと思う。お互いの意見を聞いて学ぶというのが私たちの頃はなかったので、大きい学校と小さい学校のお互いの良さを高めあっていける関係になればいいと思うので、そこを目指して行ってほしい。

参加者) どちらに通うかはいつまでに意思決定しないといけないか。

事務局) 意思決定は、まず、西指宿中学校に通ってくださいという就学通知が1月初めに届くので、その後、教育委員会に相談をして、校区外通学を希望する場合はその時点で申請をしてもらう。

参加者) 1年生では西指宿中学校に通い、2年生からは北指宿中学校に通うという方法も取れるのか。

事務局) 可能である。

事務局) 学校が統合するときに不安だという気持ちがあるが、どうしても払拭できない場合、特別に認めると決めたので。本来は部活動等の理由では認められるが、いろいろな声を聞いて、子供たちの心の問題にも関わる部分なので、特別に認めると決まった。

参加者) この5・6年生の子供たちは、どっちに行くか、迷っている。

事務局) 保護者は毎日の送迎になるし、部活動もすれば、その送迎も含めてとなる。この2年間に限っては、バスの送迎もない。令和9年4月からはバスがあるが、この2年間を北指宿中学校に通わせるのは親としても大変だ。しかし、それを覚悟で行きたいと言う人を拒む理由はないと考え、統合を理由としての校区外通学を認めることとした。

参加者) この考え方というのを読むと納得できるが、もう少し早く出してもよかったのでは。けっこうもう、どっちに行くという話になっている。

事務局) 基本的には西指宿中学校に行ってもらいたいと考えている。

参加者) このままでは西指宿中学校に行く子がいなくなるのではないかと書いてある。そこも考えたうえでということで保護者も考えている。

事務局) 今の1年生が最後の卒業生になるが、その子供たちが卒業するときに1・2年生の数が少ないというのは、学校も心配している。閉校式等の行事も出席者が少なくなるのではないかと心配もしている。

参加者) それぞれの保護者と子供が話し合うための材料がこの資料であり、今回の説明会だと認識している。

事務局) 全員に説明したい話なので、今回来られなかった人たちにも声をかけていただければ、出前説明会などで同じ説明にはなるが聞いてほしい。

参加者) 5・6年生の学級PTA等に来てもらえたら良い。

事務局) この前あった学級PTAで説明ができないか学校にも話を聞いたが、運動会の準備などですることが詰まっており、タイミングが難しかった。

参加者) 学級PTAは参加者が少ない。12月の第2土曜日にもレクリエーションがある。11月5日には授業参観があるし、12月6日の午前中には持久走大会もあり、みんな来る可能性が高い。持久走大会の日は、朝から16時頃まで何かしらある。その合間に、5・6年生の保護者に話ができれば良いのでは。

事務局) 12月6日の持久走大会の日に説明をする時間をもらえないか学校に相談してみようと思う。

参加者) 西指宿中に1年行って、2年から北指宿中に行くのは良いということだったが、逆に北指宿中に行ったけれど、西指宿中に戻るということは可能か。

事務局) 基本的にはできない。統合したら、最終的に必ず3年生の時には北指宿中に行かないとな

らなくなる。北指宿中で上手くいかなくて、西指宿中学校に帰ってきたとしても、結局は北指宿中に行かないといけなくなるので。もしそうなった場合は、西指宿中学校と北指宿中学校ではない学校を選ばないといけなくなると思われる。例えば、いじめなどの特殊な事情で北指宿中学校に行けないとなると、他の学校になると、その選択に西指宿中学校は入らない。

参加者) 南指宿中学校に行くことになるのか。

事務局) 南指宿中学校の他にも、池田からなら開聞中学校も近い。

参加者) どちらに行くか迷う。制服もどちらを買うか迷っている。西指宿中学校の制服で、北指宿中学校に行くのは見た目でも分かるし、リスクが高い。

事務局) 男の子は特に、途中で身長が伸びたりするので、途中で買い替えをするという想定で、このような取り組みにしている。北指宿中学校に行くタイミングで買ってもいいし、2年生の途中で買うこともできる。1年の入学のときに買うと、途中でまた買わないといけない。できれば、北指宿中学校に行くタイミングで、みんな北指宿中の制服を着ているという状況にしたいと考え、このような方法をとった。

参加者) 北指宿中学校は女の子もスラックスを選べるので、私の子供はそれをすごく喜んでいる。

事務局) そういう子供が多い。

参加者) 男の子のスカートはないのか。

事務局) 学校からは、今は考えていないが、この時代、できないということは言わないので、相談があったときは考えていくと聞いている。学校の環境もある。周りの子供たちも、受け入れる環境づくりをしているところではある。

参加者) 自分と違う人を受け入れるというのは難しい部分もあるが、今は多様性の時代である。

事務局) 制服も途中から変えられるので、子供たちもそこで北指宿中に行くんだという意識も持てるのではないか。

以上

「中学校統合に向けた取り組みについて」児童・保護者への説明会

質疑等の概要【今和泉小学校5・6年生の児童・保護者】

○日 時：令和6年11月6日（水） 19：00～20：00

○場 所：今和泉小学校区公民館

○参加者：5年生（在籍児童：14名）：児童4名／保護者6名

6年生（在籍児童：9名）：児童3名／保護者7名

合 計（在籍児童：23名）：児童7名／保護者13名

その他：今和泉小学校職員2名

参加者）現在、北指宿中学校へ自転車通学をしている生徒がいるが、来年度はその生徒はどうなるか教えてほしい。部活動について、通学は西指宿中学校に行き部活動だけ北指宿中学校に行くことはできないか。

事務局）自転車通学については、今の中学校3年生に部活動での校区外通学が3人おり、その子供たちについては自転車通学をしているようである。自転車通学の許可については、教育委員会と学校との認識の違いがあり、教育委員会としては保護者が責任をもって送り迎えをしていると認識していたが、学校は1.6Kmを超える場合は自転車通学を認めているため、そのきまりに基づき自転車通学を認定していた。この3年生は今年度、卒業するまでは自転車通学をできるようになっている。

西指宿中学校に通い、部活動だけを北指宿中学校に行くということについては、現在、合同部活動も検討をしているところだが、西指宿中学校に無い部活動は北指宿中学校との合同部活動はできないということで、西指宿中学校に無い部活動に入りたいのであれば、北指宿中学校に校区外通学で行くことになる。

参加者）西指宿中学校に自転車通学をする時に、学校指定の自転車があるか。例えば指定のお店やメーカーから買わないと行けない等。もしその指定自転車が高かったら、1年しか使わないのもっと安い自転車を買って使って良いか。

事務局）それぞれの学校で決めているということは聞かない。家から学校までの通学距離が5km以上の子供たちの、自転車購入を補助する制度はあるが、学校が自転車の指定をしているということは、把握していない。

（11/7西指宿中学校に確認：特に指定はしていない）

参加児童）西指宿中学校と北指宿中学校のものは、同じ学校のものを揃えないといけないか。それともばらばらのものを使うことができるのか。

事務局）ばらばらに使う事ができる。例えば制服は西指宿中学校のものを着て、靴は北指宿中学校

のものを使うということもできる。

どのタイミングで、どのものを買って使っても良いという方法にしている。西指宿中学校としても、西指宿中学校の物を揃えて使ってほしいという意見もあったが、子供たちが卒業するタイミングで、どういう服を着ているのが一番、学校に馴染みやすいかという事を考えた。状況に合わせて、一番買いやすいこの方法にした。

参加者) 西指宿中学校に行く子供の数が少なくなったら、複式学級とか教員の数が減る、ということもありえるか。

事務局) 極端に少なくなった場合あり得る。複式学級になるのが連続する学年が8人を下回った時が複式学級になる可能性がある。そのため、来年、再来年の西指宿中学校の1・2年生については、今度の6年生が何人西指宿中学校に行く、5年生が何人西指宿中学校に行く、というところで決まっていく。今の段階では何人というのは分からない。

参加者) 専科の先生が来ないということはあるか。

事務局) そういうことにはならない。

参加者) 現時点で池田小学校からは何人くらいが北指宿中学校に行くということが分かっているか。

事務局) 私たちが聞きたいが前の話や、保護者の方からきいている話では今和泉小学校の方は、部活動を含めて、半分くらいの方が北指宿中学校に行くことを検討していると聞いている。池田小学校の方も同じように、半分の2人くらいが検討していると聞いている。

事務局) 今和泉小学校の6年生は9名と聞いているが、本日は何人ご参加いただいているか。

・・・7名の挙手あり・・・

地域の方からの声で、西指宿中学校が少なくなるのではないかと心配がされている。学校再編の担当としては、子供たちに安心して学校再編を迎えてほしいと思っている。しかし、在学中に学校再編を迎えるよりは、1年生の時から北指宿中学校に行きたいというご意見もあり、教育委員会内でもすごく協議を行い、本当は特例中の特例なので認められないという話も一時期あったが、やはり保護者からこのようなご意見もあったところで、決して教育委員会が北指宿中学校に行ってくださいということではなく、選択肢の一つとして認めようということになったところである。一方で、子供たちが極端に少なくなるのではないかと、という意見もあり、実際アンケートを取ろうかという話も出たが、最終的には1月に就学通知がいて、それを基に初めてどこに行くというのが決まるので、仮に今アンケートを取っても、変更できるものであるから、答えも出せないなということで、アンケートはしていない。ただ、実際どう思っているのかなというところもあるため、フリートークの中で聞きたいと思い、ぜひ6年生の皆さんには伺いたいと思っている。

先ほど申し上げた通り、池田小学校が4人なので色々話を聞くと半分くらいは西指宿中学校に行きたいなという話も出ている。

元々、部活動で北指宿中学校に行こうと考えていた方は、以前聞いた話では3名程度と聞いているが、今も3名程ですか？

・・・3名の挙手あり

参加者) 部活が理由ではなくても、統合を理由として北指宿中学校に行けるのか。

事務局) 行けます。今回、統合を理由に北指宿中学校への校区外通学を認めるようにしたので、それは可能にはなっている。1年生から2年生までの間の2年間の保護者の送迎を確実にしてください、というのが保護者の負担としては大きくなると思っている。自転車通学ができないか何度も調査をしたが、現在、海岸沿いの通学については、外灯が全くない上に交通量もあり、護岸側には側溝に蓋がない部分もあるため、暗い時には危険だと思っている。

事務局) 現時点で、西指宿中学校に行くことが決まっている方はどのくらいいるか。

・・・3名の挙手あり。

事務局) 追加の説明になるが、この登下校の送迎については途中で事故があった場合の責任の話がでてくるので、これに関しては必ず子供さんの保護者が送迎をしていただくことが条件でお願いをしたい。何人かの保護者で交代で送迎という形になると認められない。

参加者) 交流学習は、小学生のうちからするのか、中学校に入ってからするのか。

事務局) 中学校に入ってからのことになる。

参加者) 今の小学校同士ではしないのか。今の小学生同士が集まる方が仲良くなりやすい。中学生になって、授業だけで交流ができるのか。学期一回の意見交換というのは、ちょうど思春期の時期であり、北指宿中学校は多いし西指宿中学校は少ないからその中に入っていけるだろうか。うちの子供は5年生だが、そここのところが心配だ。

事務局) 中学校同士の交流の話については、そのあたりの不安をどうすれば解消できるかという点を先生方がメインになって考えている。

今の5年生は西指宿中学校の1年生になった時に、北指宿中学校の子供たちとに交流をしていくということで考えており、中学校に上がる前に、5つの小学校同士で交流をする場合は、北指宿中学校校区の小学校でも交流学習はしているので、池田・今和泉小学校での行っている交流とタイミングが合えば、交流ができるが、まだそこまで追いついていない状況である。そこも含めて先生方と話をしている。

参加者) 必ず送迎となっているが、北指宿中学校は国道沿いだが車を安全に止められる、送迎の場所は決まっているのか。送迎をしている人を見てみると、北指宿中学校の周りの入れるところに入って、送り迎えをしているようだが。

事務局) 小中学校では、基本的に校区内の子供さんについては車での送迎は認めていないと聞いている。雨の日等はやはり近くに車を停めることで、近隣から苦情がきたりということがある。校区外通学に限っては、北門から入る形になると思っている。正門の方は歩いて来る子供たちが通る。車での送迎が必要になる校区外通学の子供さんに限っては、別なルートで考えている。

参加者) 北指宿中学校の制服は入学式などは白が基本など決まっているか。

事務局) 各学校、基本式典は白というふうをお願いしている感じであり、白いポロシャツは必ず1

枚購入するようになっている。

参加児童) 西指宿中学校に行っている時は部活に入らず、北指宿中学校に行ってから部活動に入ることはできるか。

事務局) できる。ちなみに何部に入りたいか。

参加児童) 吹奏楽部

事務局) 西指宿中学校にはリコーダー部があるが、音楽がしたかったら例えば西指宿中学校ではリコーダー部に入っていて、北指宿中学校に行ったら吹奏楽部に入ることもできる。

保護者) 全く違う部活に行っても良いのか。

事務局) 大丈夫です。合同部活動という話もこれまでしてきたが、合同部活動の仕組みが同じ部活動があって初めてできて、その中でも団体で大会に参加するものでないと認められないということだったので、西指宿中学校には現在、軟式野球部、女子バレー部、卓球部が運動の部活動としてあるが、個人で大会参加ができる卓球だけは合同部活動の仕組みではできないということを知っている。最終的に一緒に学校の一緒に部活動になるので、これをどうやって一緒にできるような形を取ろうということ、学校とも検討をしているところである。部活動の地域移行も始まっているので、西指宿中学校と北指宿中学校が一緒になって地域のクラブとして発足すると、一緒にできることになる。

事務局) 説明会をするにあたり、5・6年生の全ての保護者の方に聞いていただきたいと思っている。今回、来られてない方が10人程いる。できれば、どこかのタイミングで来られてない方にも話をしたいと思っている。これから学校行事もあると思うので、学校に話をしてそのどこかで説明をできたらと思っている。今日と同じ説明しかできないが、これから学校と協議をしていきその内容については説明していきたいと思う。今日来れなかった方には声をかけていただき、少ない人数であれば、聞きやすいと思うので出前説明会も活用していただきたい。

以上